

津久戸

令和7年8月25日

8・9月号 新宿区立津久戸小学校

これからの学び

校長 本間 基史

7月8日に6年生が石川県珠洲市直小学校と区内天神小学校とZOOMで繋いだ遠隔合同授業を行いました。これは昨年、「きぼうのて能登プロジェクト」として能登半島地震の被害を受けた石川県珠洲市の学校と本校を含む、都内の子供たちが希望をテーマに「手」を撮影しました。

今回、新宿区四谷の「CCAA アートプラザ四谷三丁目ランプ坂ギャラリー」で写真展が開催されたため、会場と各校で作品をオンラインで鑑賞し、自分の作品の解説、被災した同じ小学生への思い、遠隔合同授業の感想などをお互い発表しました。

また、2学期からはCanvaという簡単にデザインを作成できるグラフィックデザインツールを導入し、児童がプレゼンテーションやポスター、インフォグラフィックスなどを簡単に作成できるようにします。

委員会活動や学級での係活動、授業のまとめなどで活用していきたいと思います。

タブレットの活用については課題もあり、抜け道を探して、勝手にゲームにつないだり、チャットをして悪口を書き込んだりという「情報モラル」が守れていない状況もあります。きちんとルールを守って使用することが最低限必要です。

学校でも「情報モラル教育」は進めて参りますが、ご家庭でもタブレット使用についてはこまめにチェックをお願いします。ICTの活用だけではなく運動会や展覧会など身体性、感性を活用した実体験の行事や授業との両輪でこれからの学びを進めていきます。7月26日に実施された「神楽坂まつり阿波踊り」では地域の皆様、保護者の皆様のご協力により、子供たちが精いっぱい阿波踊りを楽しむことができました。感謝申し上げます。

特別の教科 道徳について

道徳担当

道徳は、昭和33年から小・中学校において始まり、平成30年から「特別の教科 道徳」に教科名が変わりました。道徳教育は時代とともに内容や方法が変化していき、現代では多様な価値観を尊重し、児童生徒が自ら考え、判断する力を育むことが重視されています。また、答えが一つではない道徳的な課題をひとりひとりが自分の問題と捉えて向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へ転換が図られています。

本校では、9月に道徳授業地区公開講座が行われます。地域の方や保護者に向けて全学級で道徳の授業を公開するとともに、講師の方をお招きして講演をしていただく予定です。ぜひ足をお運びください。

不審者対応訓練を行いました

避難訓練担当

7月1日（火）に、教職員と児童を対象とした不審者対応訓練を実施いたしました。この訓練は、万が一学校敷地内に不審者が侵入した場合に備え、児童の安全を最優先に考えた迅速かつ適切な対応を知ることが目的としております。

訓練では、教職員がさすまたや防護盾（シールド）といった防犯器具を実際に使用し、児童のいる場所に近付けないことを第一優先としながら、不審者の動きを制圧する訓練を行いました。また、児童たちは教室にカギをかけて静かに身をひそめ、教室に誰もいないよう不審者に思わせる練習をしました。児童の下校後には、警察からシールドやさすまたの使い方、適切な行動について講習を受けました。

今回の訓練で得たことを活かし、今後も子供たちが安心して学校生活を送れるよう、安全対策に万全を期して参ります。



（不審者役の警察官を追い詰める教職員）